



PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成21年12月22日
岡山大学

農作物の生産流通履歴の消費者への伝達方法の検討

概要：農作物における消費者の最大の関心事である、安心・安全と呼ばれている品質の保証にトレーサビリティの確立は必要不可欠であり、様々な取り組みが進められている。現在作物に情報を付加する技術はあるが、販売段階において消費者が詳細な情報を得ることができない。そこで、本研究では販売段階における農作物の生産流通履歴の消費者への伝達方法について検討した。アンケートの結果、消費者は情報を求めているものの、携帯電話を使った情報検索など難しい機械操作は敬遠することが分かったので、店頭で設置することを想定した情報端末を試作した。実際の操作感について再度アンケートを行った結果、バーコードを利用したこの端末であれば使いたいという意見が約8割を占めた。

1 業績

消費者が①どの様な情報を得たいか、②どの様な方法で得たいかを5段階評価のアンケートで集計した。その結果を基に情報端末を試作し、実際に消費者に操作してもらい、③その感想についてアンケートを実施した。③の内容は、その端末を利用したいかどうか、更に詳しく知りたい情報・付加して欲しい機能、表示方法の妥当性について聞いた。①、②は岡山大農学部FSC販売所、スーパーマーケットで50人ずつ、③は販売所で50人の消費者を対象に行った。

アンケート①、②の結果を、表1、2に示す。値は消費者100人の評価の平均値で高い方が得たい、利用したいことを表す。①、②共に、商品を選ぶときに情報を得たいという意見が多く、①では質問した全ての項目に高い点がつき、②では、機械操作が苦手、面倒なことはしたくないという意見が多かった。年代別、職業別には、顕著な傾向は見られなかった。また、同時に、「携帯電話で二次元バーコードを読み取ることができますか？」という質問に対しては半数以上の消費者が「読み取ることができない」と回答した。この結果を基に、スーパーマ

表1 アンケート①の結果
(どの様な情報を得たいか)

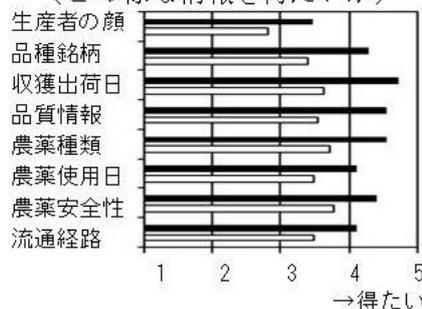
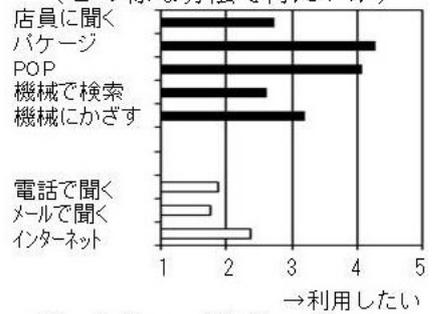


表2 アンケート②の結果
(どの様な方法で得たいか)



■購入時 (店頭で商品を選ぶ時)
□購入後 (商品を買って帰った後)

「携帯電話で二次元バーコードを読み取ることができますか？」という質問に対しては半数以上の消費者が「読み取ることができない」と回答した。この結果を基に、スーパーマ



PRESS RELEASE

ット等で情報を見ながら農作物を選ぶことを想定して情報端末を試作した（図1）。

アンケート②の結果では、機械を使った情報の表示方法は高評価ではなかったが、店頭、値札等の農作物の情報を表示するスペースが情報量に比べて小さいので、機械を使うことで多くの情報を見やすく表示できる端末を作ることにした。この際、機械操作が苦手な人でも使いやすいように操作を簡易化した。表示する情報はアンケート①の結果から、より多くの項目にした。操作の流れは、各々の商品に対応したバーコードをリーダーで読み取ると画面上に生産流通履歴が表示され、さらに、タッチパネルを利用した画面を操作すると、1ページに収まりきれない情報が現れるようにした。また、バーコードは直接商品に貼るか、商品の近くにカードとして置いておくこととした。バーコードを読み取ると、商品、生産者の写真、産地、価格、収穫日、出荷日、品種、銘柄が表示され、タッチパネルで流通経路履歴、使用農薬情報、取り扱い方法（調理法、保存法）をそれぞれのページからでも閲覧できるようにした。さらに、店頭と同じ品目でも数種類販売されていることを想定して、比較表（産地、値段、品種）のページも作成した。

アンケート③では、78%の人が利用したいという高評価を得た。機能性の要望として印刷機能が欲しい（26%）、表示する情報については、農薬の安全性についてもっと情報が見たい（21%）という要望が多かった。印刷機能の要望は、売り場にプリンタを設置すること等が改善策として挙げられる。農薬の安全性については、残留基準を表示する等が考えられるが、解りやすくして欲しいという人が多かったため、この表示方法はさらに検討していく必要がある。



図1 試作した情報端末と商品に付けたバーコード

2 背景（研究組織・研究経緯）

研究室単独

3 効果・活用（見込）

多くの商品には値札にバーコードがついているため、この端末の導入は容易である。ただし、農薬情報等の流通にはまだ生産者サイドの理解を必要とする。

※この研究成果は農業機械学会関西支部第121回例会（平成21年3月10日京都大学）にて口頭発表した。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院環境学研究科・難波和彦

（電話番号）086-251-8364

（FAX番号）086-251-8352